

取扱説明書

準備・取り付け・基本操作

ご使用前に本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

01 付属品の確認



壁掛け用ピンフック ×1

単3形アルカリ乾電池（AA）×1

フック・電池の別途購入は不要です。

02 使い始めるには

1 受信を ON にし、電池を入れる

ホルダーの＋／－表示に合わせて、付属の単3形アルカリ乾電池を確実に入れます。逆に入れると動作不良や故障の原因になります。絶縁フィルムがある場合は取り外します。

2 銀色の固定ピンを抜く

電池を入れた後に抜くと針が動き、12 時の位置で停止して自動で受信を開始します。固定ピンを抜かないと針は動きません。

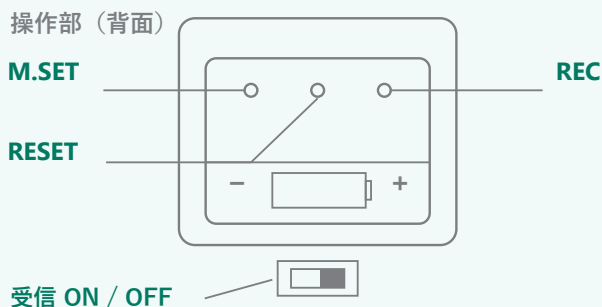
3 約 4～12 分、動かさずに待つ

初回の設定では RESET を押す必要はありません。受信に成功すると、針が早送りで正しい時刻を表示します。

抜いた固定ピンは保管してください

固定ピンは針を固定するための部品です。今後の再調整やリセット時などに必要になる場合がありますので、大切に保管してください。

03 各部の名称・電池交換



M.SET 手動で時刻を合わせます。

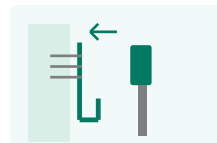
REC 強制受信／手動設定の終了に使います。

RESET 初期化します。電池交換後に押します。

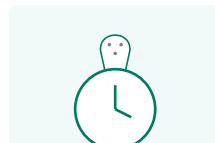
04 壁への取り付け



1 位置を決める
フックを上向きにして壁に密着。



2 ピンを打ち込む
金づちで鋼製ピンを少しずつ均等に打ち込みます。



3 時計を掛ける
背面の掛け穴をフックに掛けます。

丈夫で平らな、ピンが確実に固定できる壁に取り付けてください。ピンが打ち込めない壁や、もろい壁には使用せず、壁材に合う別の取付金具を使用してください。

時計を手で支え、確実に掛かったことを確認してから手を離してください。不安定な取り付けは落下の原因になります。

05 受信と日常の使い方

自動で時刻を合わせる

日本の標準時刻電波（40 kHz／60 kHz）のうち、受信状態のよい周波数を選び、時刻を自動修正します。

自動受信：1 日 6 回

1:00 / 3:00 / 5:00 / 13:00 / 17:00 / 21:00

受信 ON / OFF の切り替え

受信 ON

受信 OFF

OFF

ON

OFF

ON

OFF：電波を受信せず、通常のクォーツ時計として動作します。電波を受信できないときの精度は月差 ±30 秒です。

OFF から ON：針が早送りで 12 時の位置に移動して停止し、受信を開始します。約 4～12 分で正しい時刻を表示します。受信できなかった場合は元の表示時刻に戻り、次の自動受信時刻に再受信します。

必要なときに受信する（強制受信）

受信スイッチが ON で、時計が通常運転しているときに **REC** を 3 秒以上長押しします。針が 12 時の位置で停止し、受信を開始します。

受信に成功すると正しい時刻を表示します。失敗した場合は、強制受信前の時刻に戻ります。受信中は時計を動かさず、約 4～12 分お待ちください。

針を手で動かさないでください

電波ムーブメントは精密機器です。針を直接手で回したり曲げたりすると、内部の位置ずれや破損の原因になります。時刻は必ず背面のボタンで調整してください。

時刻の調整・お困りのときは

手動設定の前に、必ず受信を OFF に

背面の受信スイッチを OFF にしてください。再び電波を受信するときは ON に戻してください。

06 手動で時刻を合わせる

受信できない場合は手動で時刻を合わせます。

A 時計・分針・秒針が動いているとき

1. M.SET を 3 秒以上長押しします。秒針が停止し、手動設定モードに入ります。

2. M.SET をもう一度押して時刻を合わせます。
短く 1 回押す：分針が 1 分進みます。

1 秒以上押し続ける：針が早送りで進みます。

3. REC を 1 回押すと通常運転を開始します。REC を押さなかった場合も、約 3 分後に設定した時刻から動き始めます。

B 夜間、秒針が 12 時で止まっているとき

受信が OFF であることを確認し、M.SET を 3 秒以上長押しして離し、すぐにもう一度押します。調整方法と設定の終了は、上の「A」の手順 2・3 と同じです。

午後 10 時～午前 6 時は、秒針が 12 時の位置で停止します。故障ではありません。設定後に秒針が止まっている場合は、午前・午後も確認してください。

07 リセット後の動作と設定

リセット後に手動設定する場合も、**受信スイッチを OFF** にしてください。RESET を押した後、針が 12 時の位置で停止してから操作します。針の早送り中は手動設定できません。

受信が ON の場合の自動受信

最初の約 4 分は 40 kHz/60 kHz を探索し、その後約 8 分は受信しやすい周波数を受信します。操作しなければ、受信成功時は正しい時刻を表示し、失敗時は約 12 分後に通常運転を開始します。手動設定に切り替える場合は、まず受信を OFF にしてください。

受信を OFF にして手動設定する

針が 12 時の位置で停止中は「06 B」の方法で設定します。何も操作しないと約 12 分後に通常運転を開始するので、その後は「06 A」の方法で設定してください。

電池交換時は必ず新しい電池を使用してください。

08 電波を受信しやすい設置

- **窓際などに置く。**時計の文字板側または背面側を送信所の方向へ向けると、受信しやすくなります。
- **家電・金属製品から離す。**特にテレビ画面から約 2 m 以内は受信障害が起こりやすくなります。冷蔵庫やパソコンの近くも避けてください。
- **夜間にも試す。**夜間は受信しやすいため、日中に受信できない場合は夜に再度お試しください。

標準電波送信所

40 kHz おおたかどや山（福島県田村市）

60 kHz はがね山（福岡県・佐賀県境）

受信しにくい場所

地下、鉄筋コンクリートの建物内、高層ビルや山の間、高圧線・テレビ塔の近く、移動中の車や電車の中、空港・高速道路・工事現場などのノイズ発生源の近く、金属などで電波が遮られる場所、離島・日本国外。

受信可能な距離の目安は、よい条件下で送信所から約 1,000 km です。受信状況は地域や周囲の環境によって異なります。

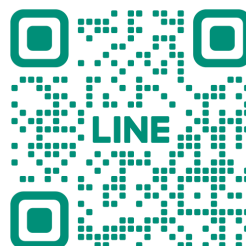
受信しない・時刻がずれるとき

初期受信に失敗すると通常運転を開始し、次の自動受信時刻に再受信します。窓際などに移して向きを変え、表面「05」の強制受信を試してください。改善しない場合は「06」で手動設定します。

日本国外で使う場合：日本の電波を受信して日本時刻を表示することがあります。現地時刻を使う場合は、受信を OFF にして手動設定してください。

EOOQ アフターサポート

ご不明な点や不具合は、LINE またはメールでお問い合わせください。



LINE で相談

QR コードを読み取り、友だち追加してください。

メール

support@eooq.jp

午前・午後の合わせ方

リセット直後の 12 時は「正午」です。例えば、そのまま 5 時に進めると午後 5 時になります。午前 5 時に合わせるには、さらに 12 時間分進めてください。夜間の秒針停止を正しく働かせるために必要です。